

第2章 京都エコエネルギープロジェクト

1 プロジェクトの背景・趣旨

地球温暖化問題を解決していくうえで、CO₂を排出しない風力発電や太陽光発電など、クリーンで再生可能な自然エネルギーをはじめとする**新エネルギー***の普及を一層促進していくことが求められています。

このため、府では、**京都議定書***採択の地である「環境先進地・京都」の新たなシンボルプロジェクトとして、15年度から、新エネルギーの安定的な電力需給システムの研究・開発をめざす「京都エコエネルギープロジェクト」(KEEP)を民間企業や京丹後市と共同して進めています。

このプロジェクトは、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が全国で実施する委託研究事業(「新エネルギー等地域集中実証研究」～全国で3件を採択)として位置づけられたものです。

2 プロジェクトの目的・概要

風力発電や太陽光発電などの自然エネルギーは、気象条件によって発電量が変動するなどの課題があり、その普及を図るためには、需要に応じて安定的に電力を供給することができるシステムの開発が必要となっています。

このため、このプロジェクトでは、風力発電や太陽光発電などの自然エネルギーに、**バイオガス***発電(ガスエンジン、**燃料電池***)などの新エネルギーを組み合わせることにより、需要に応じて安定的に電力を供給できるシステムの研究・開発(「新エネルギーによる地域分散型エネルギー供給システムの構築」)を目指しています(15年度～19年度までの5年間の実証研究)。

17年11月にすべての施設が完成し、全面稼働したところであり、19年度まで実証研究を行い、今後の新エネルギー導入に必要な知見を得るとともに、併せて丹後地域における「環境共生のまちづくり」に活用していくこととしています。

図1-4 京都エコエネルギープロジェクトのイメージ

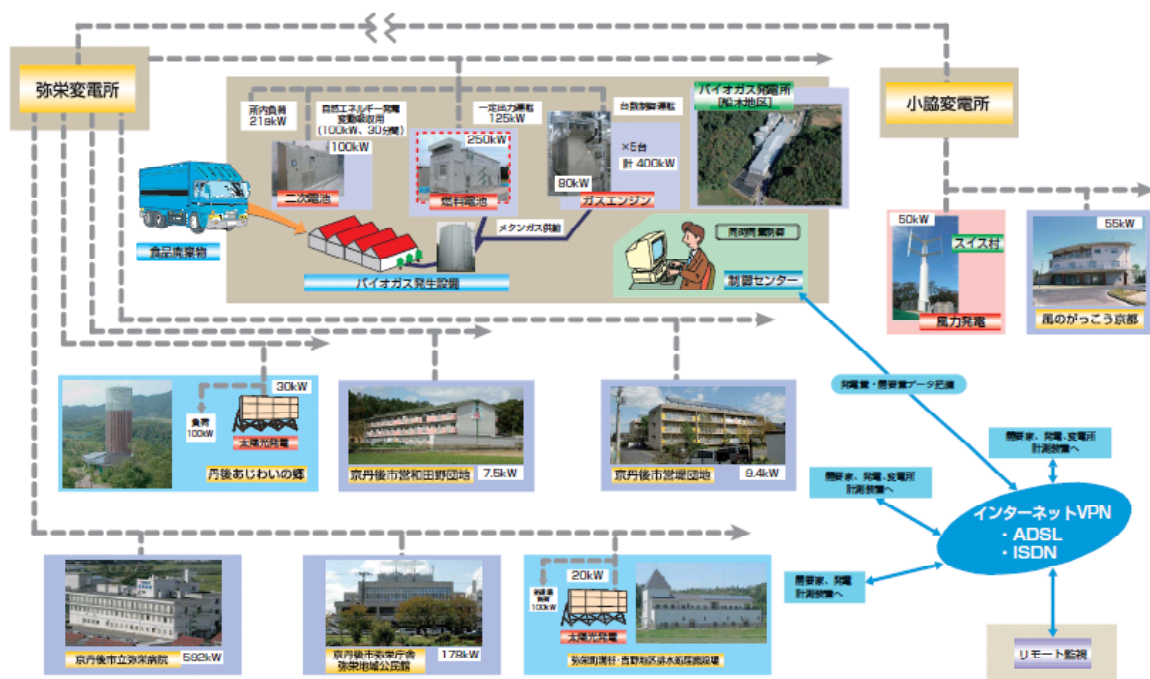


図 1 - 5 太陽光発電設備



太陽光発電設備
(丹後あじわいの郷)



太陽光発電設備
(溝谷・吉野地区農業集落排水処理施設)



風力発電設備
(森林公園スイス村)



バイオガス発電設備
(京都エコエネルギー研究センター)